

伊万里地区

3. 常光寺の閻魔像

常光寺は平成7年（1995）に伊万里町の立町から木須町の木須東に移転しました。境内の閻魔堂には閻魔像がまつられています。慶長2年(1597)の製作とされています。閻魔は閻魔王の略で、閻魔大王と呼ぶこともあります。インド神話では、人類最初の死者であることから死の神として冥界を支配し、転じて仏教では地獄の主となり、18の将官と8万の獄卒とを従えて、地獄におちる人間の生前の罪を裁くと言われています。右手に笏を持ち、前には亡者の生前の罪を映し出す鏡を据えています。毎年8月16日に「閻魔さんの市」が行われています。

